



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 Aiロボティクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 247A URL <https://ai-robotics.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 龍川 誠
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 坂元 優太 TEL 03-6809-0142
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	10,542	66.4	701	△41.7	686	△40.9	468	△42.7
2025年3月期中間期	6,335	89.7	1,204	56.1	1,161	52.2	817	47.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	7.95	7.17
2025年3月期中間期	17.29	14.62

- （注）1. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。また、2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。
2. 当社は、2024年9月27日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、新規上場日から2025年3月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	9,639	3,821	39.6
2025年3月期	6,966	3,309	47.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,821百万円 2025年3月期 3,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	97.1	4,800	93.5	4,775	97.1	3,330	95.5	57.03

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 8 「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	61,660,000株	2025年3月期	58,390,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	50株	2025年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	58,975,688株	2025年3月期中間期	47,278,743株

(注) 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。また、2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、円安の影響を受け、訪日外国人観光客とそれによるインバウンド需要が牽引しましたが、物価高やトランプ政権下での関税引き上げが日本経済にもたらす懸念の影響もあり、個人の消費は低迷傾向であります。

当社が主に事業展開を行う国内のスキンケア市場は、このような状況下でも一定の市場成長が期待されております。

当社は、主力ブランドである「Yunth」より、当第2四半期会計期間において、新たに「マルチスクエアシートマスク」の発売を開始し、商品ラインナップを拡充しました。

また、当中間会計期間においては、2025年6月にローンチしたヘアケアの新ブランド「Straine」及び、美容家電ブランド「Brighte」のブランド価値向上や認知拡大施策のため、一時的な先行費用を計上しております。

当該施策等の結果、ヘアケアブランドの「Straine」は一時売り切れとなる程の大きな反響をいただいております、美容家電ブランドの「Brighte」においては、自社E Cでの販売に加え、家電量販店での店頭販売を目的とした卸販売が増加しております。お客様の目に入る機会が増え、手に取っていただけることで、信頼できる美容家電ブランドとして順調に認知を拡大しております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は10,542,581千円（前年同期比66.4%増）、営業利益は701,778千円（前年同期比41.7%減）、経常利益は686,878千円（前年同期比40.9%減）、中間純利益は468,689千円（前年同期比42.7%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は9,639,202千円となり、前事業年度末に比べ2,672,719千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,070,818千円減少したものの、売掛金が1,237,904千円、商品及び貯蔵品が1,415,878千円、前払費用が484,041千円、前渡金が296,595千円、未収消費税等が117,557千円、敷金及び保証金が136,652千円増加したことによるものです。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は5,817,812千円となり、前事業年度末に比べ2,161,306千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が358,013千円、未払消費税等が234,094千円減少したものの、買掛金が405,496千円、未払金が746,937千円、有利子負債が1,573,901千円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は3,821,390千円となり、前事業年度末に比べ511,412千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使による株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ21,408千円、中間純利益の計上により利益剰余金が468,689千円増加したことによるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、2,861,332千円となり前事業年度末に比べ1,070,818千円減少しました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,503,994千円の支出（前中間会計期間は608,656千円の収入）となりました。これは主に税引前中間純利益686,878千円、売上債権の増加額1,237,904千円、棚卸資産の増加額1,415,878千円、前払費用の増加額484,514千円、法人税等の支払額561,078千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは182,876千円の支出（前中間会計期間は147,247千円の支出）となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出142,239千円、有形固定資産の取得による支出44,466千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,616,257千円の収入（前中間会計期間は292,210千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出266,099千円、社債の償還による支出160,000千円があったものの、長期借入れによる収入2,000,000千円があったことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。
今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,932,150	2,861,332
売掛金	1,205,126	2,443,031
商品	967,270	2,263,812
貯蔵品	151,970	271,306
前渡金	161,125	457,721
前払費用	139,440	623,482
未収消費税等	—	117,557
その他	283	165
流動資産合計	6,557,367	9,038,408
固定資産		
有形固定資産		
建物	205,684	205,684
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,820	△18,912
建物（純額）	193,864	186,772
工具、器具及び備品	81,945	94,126
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,013	△43,708
工具、器具及び備品（純額）	53,932	50,418
車両運搬具	—	9,753
減価償却累計額及び減損損失累計額	—	△541
車両運搬具（純額）	—	9,212
リース資産	3,336	3,336
減価償却累計額及び減損損失累計額	△667	△1,000
リース資産（純額）	2,668	2,335
建設仮勘定	—	21,978
一括償却資産	4,747	4,738
有形固定資産合計	255,212	275,454
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	2,254	40,982
敷金及び保証金	98,024	234,676
繰延税金資産	40,790	40,790
投資その他の資産合計	141,079	316,459
固定資産合計	396,292	591,913
繰延資産		
社債発行費	12,822	8,879
繰延資産合計	12,822	8,879
資産合計	6,966,482	9,639,202

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,731	666,228
1年内償還予定の社債	421,525	441,525
1年内返済予定の長期借入金	346,055	637,662
未払金	830,988	1,577,926
未払法人税等	592,913	234,899
未払消費税等	234,094	—
リース債務	733	733
株主優待引当金	7,312	13,400
その他	47,133	68,493
流動負債合計	2,741,488	3,640,868
固定負債		
社債	280,000	100,000
長期借入金	632,815	2,075,109
リース債務	2,201	1,834
固定負債合計	915,016	2,176,943
負債合計	3,656,505	5,817,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,431	836,839
資本剰余金		
資本準備金	812,431	833,839
資本剰余金合計	812,431	833,839
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,681,820	2,150,509
利益剰余金合計	1,681,820	2,150,509
自己株式	△35	△35
株主資本合計	3,309,647	3,821,152
新株予約権	330	237
純資産合計	3,309,977	3,821,390
負債純資産合計	6,966,482	9,639,202

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
売上高	6,335,381	10,542,581
売上原価	1,322,229	2,551,250
売上総利益	5,013,151	7,991,330
販売費及び一般管理費	3,808,909	7,289,552
営業利益	1,204,242	701,778
営業外収益		
受取利息	330	3,830
営業外収益合計	330	3,830
営業外費用		
支払利息	6,293	9,659
社債利息	2,247	3,443
社債発行費償却	5,144	3,943
上場関連費用	19,602	—
為替差損	9,237	1,209
その他	727	473
営業外費用合計	43,252	18,729
経常利益	1,161,320	686,878
税引前中間純利益	1,161,320	686,878
法人税等	343,917	218,189
中間純利益	817,402	468,689

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,161,320	686,878
減価償却費	15,129	25,330
受取利息	△330	△3,830
支払利息	6,293	9,659
社債利息	2,247	3,443
社債発行費償却	5,144	3,943
上場関連費用	19,602	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△432,679	△1,237,904
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△189,275	△1,415,878
前渡金の増減額 (△は増加)	△96,086	△296,595
前払費用の増減額 (△は増加)	△13,908	△484,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	68,256	405,496
未払金の増減額 (△は減少)	249,774	745,832
未払法人税等の増減額 (△は減少)	4,729	△15,102
未払消費税等の増減額 (△は減少)	86,012	△234,094
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△117,557
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	6,087
その他	12,482	△14,836
小計	898,711	△1,933,642
利息の受取額	330	3,830
利息の支払額	△8,540	△13,103
法人税等の支払額	△281,845	△561,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	608,656	△2,503,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	90,000	—
有形固定資産の取得による支出	△234,648	△44,466
敷金及び保証金の差入による支出	△4,839	△142,239
敷金及び保証金の回収による収入	2,240	3,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,247	△182,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	313,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△221,714	△266,099
社債の償還による支出	△268,000	△160,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	101,525	42,510
株式の発行による収入	372,416	—
上場関連費用の支出	△4,983	—
その他	△33	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	292,210	1,616,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	753,618	△1,070,818
現金及び現金同等物の期首残高	2,917,507	3,932,150
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,671,125	2,861,332

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、D2Cブランド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（重要な後発事象の注記）

（株式分割）

当社は、2025年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式を分割し、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

（1）分割の方法

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき5株の割合をもって分割しております。

（2）分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	12,332,000株
今回の分割により増加した株式数	49,328,000株
株式分割後の発行済株式総数	61,660,000株
株式分割後の発行可能株式総数	200,000,000株

3. 株式分割の日程

基準日公告日 2025年9月12日
基準日 2025年9月30日
効力発生日 2025年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

5. 新株予約権1株当たりの行使価額及び新株予約権1個当たりの目的である株式の数の調整

今回の株式分割に伴い、2025年10月1日以降に行使する新株予約権の1株当たりの行使価額及び新株予約権1個当たりの目的である株式の数を以下のとおり調整しております。

新株予約権	行使価額（円）		新株予約権1個当たりの株式数（株）	
	調整前	調整後	調整前	調整後
第6回	65	13	2,000	10,000
第8回	65	13	2,000	10,000
第9回	65	13	2,000	10,000
第10回	4,511	903	100	500
第11回	5,549	1,110	100	500

6. 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。